

# 口の中のけが(口腔内・咽頭外傷)

歩くことに慣れるまでの1-2歳が口やのどに最もけがをしやすい時期です。  
歯ブラシやお箸などは転んだときにのどに刺さることがあり、  
その先にある脳や血管に傷が入り、命に関わることもあるので予防が大事です。

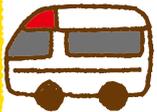
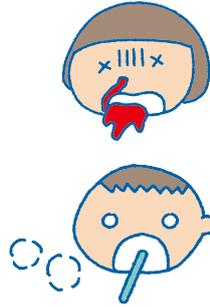


## 応急処置のポイント

### 直ちに救急車を呼ぶ



- ✓ 口や鼻から血がたくさん出る
- ✓ 意識がおかしい
- ✓ 呼吸が苦しそう
- ✓ 手足の動きが悪い
- ✓ ものが口の中にささったままの場合



**無理に抜かずに、  
すぐに救急車を呼びましょう**

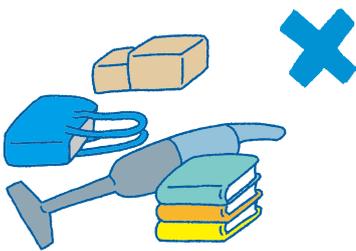
### 早めに医療機関を受診

- ✓ 口の中に刺さって抜けた場合



## 家庭での事故(傷害)予防のポイント

床につまづくものを  
置かない



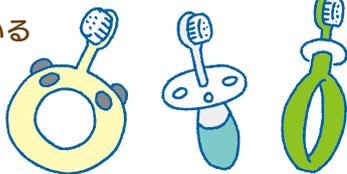
歯ブラシなどの  
刺さりうる物を持ったまま  
歩かないようにする



歯磨きは洗面所でおこなうなどのルールをつくる  
子どもが自分で歯磨きをする場合は、  
保護者の見守りのもとで座ってする



喉突き防止  
歯ブラシを用いる



歯ブラシによるけがについては下の東京消防庁のホームページ、  
東京都のパフレットをご覧ください

- 東京消防庁 乳幼児の歯みがき中の事故に注意!
- 東京都 乳幼児の歯みがき中の喉突き事故に注意!



## 実際に あった事例

歯ブラシによる口腔内外傷 Injury Alert(傷害速報)No. 34

4歳男児。夕食後歯磨きをしながらソファの袖に立っていたところ転倒し、歯ブラシの柄がのどに刺さった。歯ブラシの先端は折れており、全身麻酔下にて摘出した。

## 主治医から のひとこと